

製品名: EDG-6 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab10302**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	41kDa

抗原情報

遺伝子名	S1PR4
別名	S1PR4; EDG6; Sphingosine 1-phosphate receptor 4; S1P receptor 4; S1P4; Endothelial differentiation G-protein coupled receptor 6; Sphingosine 1-phosphate receptor Edg-6; S1P receptor Edg-6
遺伝子 ID	8698.0
SwissProt ID	O95977
免疫原	抗血清はヒト EDG6 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 211-260

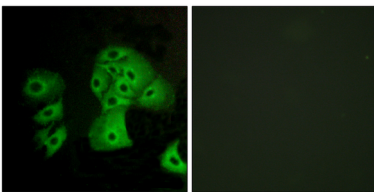
背景

この遺伝子は、内皮分化、Gタンパク質共役 (EDG) 受容体遺伝子ファミリーのメンバーです。EDG受容体は、リゾリン脂質またはリゾスフィンゴ脂質をリガンドとして結合し、多くの異なる細胞型における細胞シグナル伝達に関与しています。このEDG受容体遺伝子はイントロンを持たず、リンパ組織で特異的に発現しています。[RefSeq提供、2008年7月]、機能: リゾスフィンゴ脂質スフィンゴシン 1-リン酸 (S1P) の受容体です。S1Pは、ほとんどの種類の細胞および組織に多様な生理学的効果を引き起こす生理活性リゾリン脂質です。リンパ球に特有の細胞遊走プロセスに関与している可能性があります。類似性: Gタンパク質共役受容体1ファミリーに属します。組織特異性: 胎児および成人のリンパ組織、造血組織、および肺で特異的に発現しています。成体および胎児の脾臓、ならびに成体末梢白血球および肺において、かなりのレベルの発現が認められる。成体胸腺、リンパ節、骨髄、虫垂、ならびに胎児肝臓、胸腺、肺においては、発現レベルは低い。

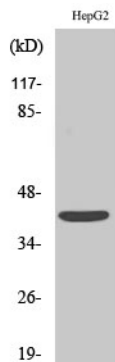
研究分野

神経活性リガンド-受容体相互作用;

画像データ



EDG6抗体を用いたA549細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロックした画像です。



EDG-6ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析